

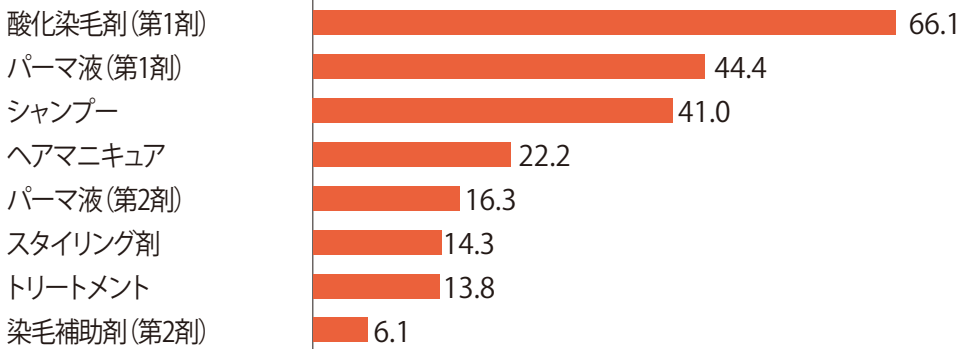
(参考資料) 染毛剤・パーマ剤等に含まれる成分の刺激度

下のグラフは、美容師・理容師の方に職業上使用する製品に含まれる、アレルギー性接触皮膚炎の原因となる成分をパッチテスト（48時間塗布による経過観察）を行った結果、陽性率を表したものです。

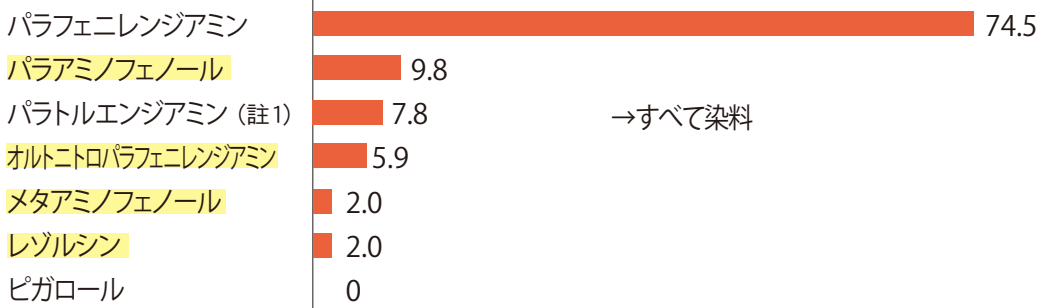
酸化染毛剤の他パーマ剤等もテストされています。

やはり酸化染毛剤が最も刺激が高く、中でもパラフェニレンジアミンは飛び抜けて多くの方が陽性反応を示しています。

製品ジャンル



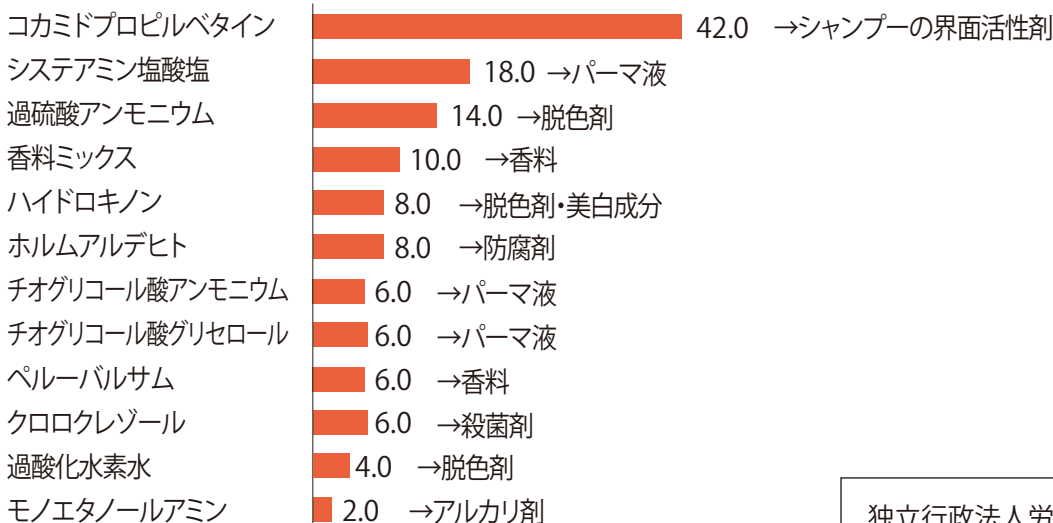
染毛剤の成分



製品ジャンルとして酸化染毛剤が最も刺激が高く、中でもパラフェニレンジアミンはダントツ1位で10人中7.5人の方が陽性反応を示します。このパラフェニレンジアミンを使用しないだけでかぶれる確率がグンと減ることがわかります。

→Saiに使用している成分

パーマ剤等その他成分



(註1)

Saiに使用している成分の「硫酸トルエン-2,5-ジアミン」はグラフ中のパラトルエンジアミンより刺激が少ないものになります。

独立行政法人労働者健康安全機構資料より
職業性皮膚障害に対する職業作業環境管理の進め方に関するガイドライン作成
—理・美容業界をフィールドとして—
(n=63、検査対象アレルゲン32種)